

北海道浮魚ニュース

平成 20(2008)年度 8 号 (通巻 No.261)

2008 年 7 月 18 日

北海道立水産試験場

ホームページ : http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/ukiuo/uki_index.htm

第 1 回太平洋スルメイカ長期漁況予報発表される

7 月 18 日に平成 20 年度第 1 回太平洋スルメイカ長期漁況予報文が、水産庁より発表されました。詳細な予報文は下記のホームページに掲載されます。

水産庁 URL : <http://www.jfa.maff.go.jp/release/index.html>

今後の見通し (2008 年 7 ~ 9 月)

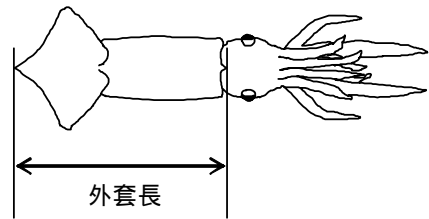
対象魚種 : スルメイカ

予測海域 : 道東太平洋 ~ 根室海峡周辺海域、
津軽海峡 ~ 北海道南部海域、
常磐 ~ 三陸海域

対象漁業 : いか釣り、底曳網、定置網、まき網

対象魚群 : 冬季発生系群 (2008 年級群)

注) 魚体の大きさは外套長で表示 (右図参照)



道東太平洋 ~ 根室海峡周辺海域 (いか釣り、定置網)

- ・ 来遊量 : 2007 年を下回る。
- ・ 漁期・漁場 : 道東太平洋の漁場形成は 2007 年より遅れる。
根室海峡周辺海域の漁場形成は 10 月以降になる。
- ・ 魚体 : 2007 年よりも小型であり、8 月は 20cm 未満が主体。

津軽海峡 ~ 北海道南部海域 (いか釣り、定置網)

- ・ 来遊量 : 津軽海峡内は 2007 年並みか上回る。
津軽海峡東口 ~ 北海道南部海域は 2007 年並みか下回る。
- ・ 漁期・漁場 : 期間を通じて漁場となる。
- ・ 魚体 : 2007 年よりも小型であり、8 月は 19 ~ 23cm が主体。

常磐 ~ 三陸海域 (いか釣り、底曳網、定置網、まき網)

- ・ 来遊量 : 常磐 ~ 三陸南部海域は 2007 年並みか下回る。
三陸北部海域は 2007 年を下回る。
- ・ 漁期・漁場 : 期間を通じて漁場となる。
- ・ 魚体 : 2007 年よりも小型であり、8 月は 20 ~ 22cm が主体。

今年 6 月の太平洋スルメイカ漁場一斉調査の結果、スルメイカは道南から三陸の太平洋沿岸に多く分布しており、全体の分布密度は前年並みであることが分かりました (図 1, 2)。また、スルメイカの大きさは前年より小型であることも分かりました。

このことから、漁期前半の道南 ~ 道東太平洋へのスルメイカの来遊量は、前年並みかやや下回ると予想されます。イカの大きさが小さいため、道東太平洋での本格的ないか釣り漁場の形成は 8 月以降になる見込みです。

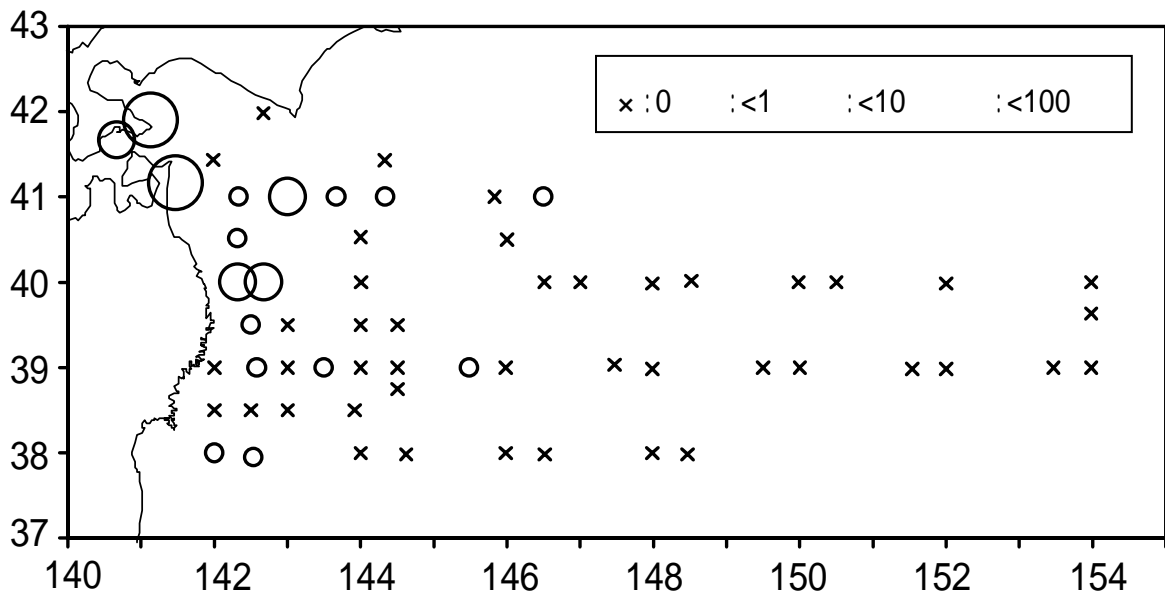


図1 2008年6月の漁場一斉調査におけるスルメイカの分布密度
分布密度はCPUE(自動イカ釣機1台1時間当りの平均漁獲尾数)で示した。

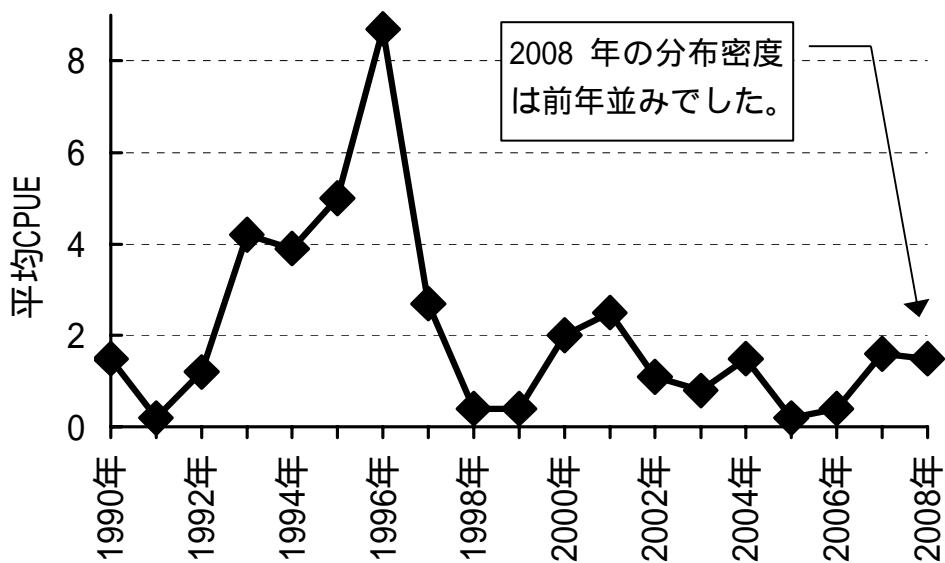


図2 6月の太平洋海域におけるスルメイカの分布密度の経年変化
分布密度を漁場一斉調査のCPUEの平均で示した。

注) 図の元データは平成20年度第1回太平洋スルメイカ長期漁況予報会議資料
(独立行政法人水産総合研究センター北海道区水産研究所取りまとめ)より。

(文責: 釧路水産試験場資源管理部, TEL:0154-23-6222、FAX:0154-23-6225)